

令和8年度

発行日 令和8年6月28日

《民俗芸能情報提供》 7月～9月

3ヶ月に1回 会員向けに発行 団体・個人の入会 随時受付中
神奈川県民俗芸能保存協会事務局

<協会ウェブサイト> <https://kanagawa-mzg.jp/>

<民俗芸能情報の受け入れ窓口> office@kanagawa-mzg.jp

<民俗芸能情報収集・作成担当者> (スタッフ募集中)

県西地域 柏木 勤

県北地域 平本元一

県央地域 垣澤 勉、中島裕子

湘南地域 松岡敬介

県東地域 飯島重一、吉澤幸治、高久 舞、金子隆一

各地域 神奈川県、各市町村民俗芸能担当の皆さん

箱根町、小田原市、川崎市、三浦市、横浜市、横須賀市、鎌倉市、厚木市

相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、山北町、座間市、秦野市、南足柄市、平塚市

寒川町、海老名市、大磯町、大和市、綾瀬市、伊勢原市、愛川町、真鶴町

湯河原町、葉山町

<民俗芸能情報印刷・配送担当者> (スタッフ募集中)

吉澤幸治、八木秋夫、平本元一、柏木 勤、雨宮真樹、長嶋 緑、綿谷真理、金子隆一

※詳細につきましては、各問い合わせ先にご確認下さい。

※指定・選択区分記号凡例

(大会等で複数の公演を行う場合は、記号を記載していない場合があります。)

(A) 国指定重要無形民俗文化財 (B) 国選択無形民俗文化財

(C) 神奈川県指定無形民俗文化財 (D) 神奈川県選択無形民俗文化財

(E) 市町村指定無形民俗文化財、市町村認定無形民俗文化財

月 日	民 俗 芸 能 等 の 名 称	場 所
7 月 5 日(日)	第 60 回夕日の滝びらき (B) (C) (足柄ささら踊保存会による踊り)	夕日の滝広場 (南足柄市)
7 月 7 日(火)	天王祭 三ツ目神楽 (E)	瀬戸神社境内 (横浜市)
7 月 8 日(水)	第 48 回相模ささら踊り大会 (B)(C)	IIMURO GLASS 綾瀬市民スポーツ センター (綾瀬 市)
7 月 11 日(土)	三戸の獅子舞	三戸諏訪神社前広場 (三浦 市)
	厚木神社例大祭 厚木ばやし保存会	厚木神社 (厚木 市)

神奈川県民俗芸能保存協会

7月11日(土) 7月12日(日)	有鹿神社例大祭 海老名の祭囃子 (E)	有鹿神社 (海老名市)
	江の島八坂神社天王祭 (E) (江の島囃子) (C)	藤沢市江の島・鎌倉市腰越周辺 江島神社 (藤沢市)
7月12日(日)	祇園舟 (E)	富岡八幡宮 (横浜市)

7月14日(火)	おれまき (E)	八坂神社境内 (横浜市)
7月15日(水)	宮城野天王祭 (箱根の湯立獅子舞) (A)	諏訪神社境内 (箱根町)
7月15日(水) ～21日(火)	白旗神社例大祭 (白旗まつり)	白旗神社 (藤沢市)
7月18日(土) 7月19日(日)	澁谷神社例大祭 海老名の祭囃子 (E)	澁谷神社 (海老名市)
	根府川寺山神社の鹿島踊り (C)	寺山神社境内 (小田原市)
	海南神社夏例大祭 (E)	海南神社及び三崎港周辺 (三浦市)
7月19日(日)	相模里神楽垣澤社中 神楽奉納公演 (E)	荻野神社 (厚木市)
	禰宜舞 (E)	白幡八幡大神拝殿 (川崎市)
	長井の祭木遣り唄	第六天神社、井尻町内 (横須賀市)
	仙石原天王祭 (箱根の湯立獅子舞) (A)	諏訪神社 (仙石原) 境内ほか (箱根町)
	三増の獅子舞 (C)	諏訪神社 (愛川町)
	佐島の御船歌 (E)	熊野神社他 (横須賀市)
	福田神社囃子獅子舞 (E)	福田神社 (大和市)
	南湖麦打唄 (E)	八雲神社境内 (茅ヶ崎市)
	御幣参り	茅ヶ崎市南湖地区内 (茅ヶ崎市)

7月20日(月) (祝日)	茅ヶ崎海岸浜降祭 (C)	茅ヶ崎市南湖 茅ヶ崎西浜海岸 (茅ヶ崎市)
7月21日(火)	金田走湯神社の祭り (担ぎ屋台)	走湯神社周辺 (三浦市)
7月24日(金) 7月25日(土)	貴船神社の船祭り (A)	真鶴港及び町内 (真鶴町)
7月25日(土)	南山田の虫送り (E)	山田神社～夏みかん公園(横浜市)
7月25日(土) 7月26日(日)	第19回藤沢宿・遊行の盆	藤沢駅北口周辺 清浄光寺(遊行寺) (藤沢市)
	田村八坂神社例大祭 (田村ばやし) (E)	田村八坂神社 (平塚市)
7月26日(日) 7月27日(月)	辻堂諏訪神社例大祭 (辻堂諏訪神社人形山車) (E)	諏訪神社 (藤沢市)
7月27日(月)	上宮田諏訪神社の祭り(担ぎ屋台)	諏訪神社周辺 (三浦市)
7月28日(火)	不動尊祭 海老名の祭囃子 (E)	三島社 (海老名市)

7月31日(金) 8月1日(土)	鈴鹿明神社例大祭	鈴鹿明神社 (座間市)
8月1日(土)	素鷲神社祭典(吉浜)鹿島踊り奉納 (B) (C)	素鷲神社境内 (湯河原町)
	浅間大神祭礼 海老名の祭囃子 (E)	浅間大神 (海老名市)
	長徳寺盆踊り	長徳寺 (相模原市)
	新田名音頭	田名中学校校庭 (相模原市)
8月1日(土) 8月2日(日)	お馬流し (C)	本牧神社および本牧漁港 (横浜市)
8月2日(日)	西小磯の七夕 (B) (C) (西小磯西地区)	大磯町西小磯西 西小磯西老人憩いの家 (大磯町)
8月3日(月) 8月4日(火)	関の首長囃子(青山神社例大祭)	青山神社、関地区内 (相模原)
8月6日(木) 8月7日(金)	西小磯の七夕 (B) (C) (西小磯東地区)	大磯町西小磯東 西小磯東老人憩いの家 (大磯町)

神奈川県民俗芸能保存協会

8 月 8 日(土)	鳥屋の獅子舞 (C) (E)	諏訪神社境内 (相模原市)
8 月 9 日(日)	根岸の榊神輿 (E)	根岸町、根岸八幡神社 (横浜市)
8 月 16 日(日)	遠藤ささら踊り (C)	玉雄山寶泉寺 (藤沢市)
	箱根強羅の大文字焼き	強羅全域 (箱根町)
	三戸のオショロ(お精霊)流し (A)	三戸海岸 (三浦市)
	相原八幡宮例大祭 相模里神楽垣澤社中 神前舞奉納 (E) 未定	相原八幡宮「拝殿」 (相模原市)
	相原諏訪神社例大祭 相模里神楽垣澤社中 神前舞奉納 (E) 未定	相原諏訪神社「拝殿」 (町田市)
	下山口神明社例大祭・鎌倉神楽	下山口神明社 (葉山町)
8 月 17 日(月)	鵜沼皇大神宮例大祭 (湯華神楽・鵜沼皇大神宮人形山車) (E)	鵜沼皇大神宮 (藤沢市)
8 月 23 日(日)	大島諏訪明神の獅子舞 (C) (E)	大島諏訪明神 (相模原市)
8 月 25 日(火) 8 月 27 日(木)	藤澤諏訪神社例大祭 (西富ばやし) (E)	諏訪神社、遊行寺、 遊行通り、藤沢駅周辺 (藤沢市)
8 月 26 日(水)	下九沢御嶽神社の獅子舞 (C) (E)	下九沢御嶽神社 (相模原市)
8 月 26 日(水) 8 月 27 日(木)	片瀬諏訪神社例大祭	諏訪神社、龍口寺周辺 (藤沢市)

8 月 28 日(金)	大山阿夫利神社の倭踊・巫女舞(C)	大山阿夫利神社 (伊勢原市)
8 月 29 日(土) ※雨天時 30 日	扇町おもいで祭り 海老名の祭囃子 (E)	海老名駅西口中心広場 プリムナード、エビロード (海老名市)
9 月 1 日(火)	汐祭り	野島・金沢漁港 (横浜市)
	田名八幡宮の獅子舞 (E)	田名八幡宮 (相模原市)

9月4日(金) 9月5日(土)	栗原神社祭礼	栗原神社 (座間市)
9月5日(土) 9月6日(日)	葛原皇子大神例大祭 (葛原ささら踊り) (C)	皇子大神境内 (藤沢市)
9月6日(日)	宮尾神社例大祭 相模里神楽垣澤社中 神前舞奉納 (E) 未定	八王子宫尾神社「拝殿」 (八王子市)
9月上旬(土)	熊野神社例大祭 厚木ばやし保存会	熊野神社 (厚木市)
9月7日(月) 9月8日(火)	薬王院双盤念仏 (E)	薬王院 (大和市)
	葉山森戸大明神例大祭 (湯立神楽)	森戸神社 (葉山町)
9月9日(水)	極楽寺熊野新宮 (鎌倉神楽) (E)	極楽寺熊野新宮 (鎌倉市)
9月12日(土)	龍口寺法難会	寂光山龍口寺 (藤沢市)
9月12日(土) 9月13日(日)	川名御霊神社例大祭 (川名屋台ばやし) (E)	川名御霊神社 (藤沢市)
	菅の獅子舞 (C)	子之神社、菅薬師堂 (川崎市)
9月13日(日)	第55回足柄峠笛まつり (足柄ささら踊保存会による踊り) (B) (C) (内山剣舞おどり保存会による踊り) (D) (E)	足柄峠広場 (静岡県駿東郡小山町)
	亀ヶ池八幡宮例大祭 相模里神楽垣澤社中 神前舞と神楽奉納公演 (E) 未定	亀ヶ池八幡宮「拝殿・神楽殿」 (相模原市)
-	第55回鎌倉郷土芸能大会 祭ばやし大会 ※9月中の開催は中止	鶴岡八幡宮境内源氏池畔 (鎌倉市)
9月14日(月)	秋季開山忌 (踊り念仏・薄念仏会)	時宗総本山遊行寺 (藤沢市)
9月18日(金)	御霊神社の面掛行列 (C) 鎌倉神楽 (E) 天王唄、鎌倉囃子	御霊神社 (鎌倉市)
9月18日(金) ～20日(日)	お三の宮祭礼	お三の宮日枝神社 (横浜市)
9月19日(土) 9月20日(日)	圓蔵神明大神宮例大祭 (圓蔵祭囃子) (E)	円蔵神明大神宮 (茅ヶ崎市)

9月20日(日)	禰宜舞 (E)	白幡八幡大神拝殿 (川崎市)
9月25日(金)	山崎北野神社例大祭 (鎌倉神楽) (E)	山崎北野神社 (鎌倉市)
9月25日(金) ～29日(火)	三溪園「観月会」	三溪園 (横浜市)
9月26日(土)	熊野神社例大祭 相模里神楽垣澤社中 神楽奉納公演 (E) ※予定	熊野神社「神楽殿」 (厚木市)
9月26日(土) 9月27日(日)	森山神社例大祭 (世計り神事) (E)	森山神社 (葉山町)
9月27日(日)	曾我別所寿獅子舞 (宗我神社祭礼) (E)	宗我神社神楽殿 (小田原市)
9月27日(日) 9月28日(月)	四之宮前鳥神社例大祭 前鳥囃子・麦振舞神事・神輿宮入り 神事 (E) 相模人形芝居前鳥座 (C)	前鳥神社 (平塚市)

〈7月〉

● 第60回夕日の滝びらき (足柄ささら踊保存会による踊り) (B) (C)

期 日：7月5日 (日曜日) 11時～安全祈願、12時～足柄ささら踊

場 所：夕日の滝広場 (南足柄市矢倉沢地蔵堂)

交 通：JR東海道線・小田急線「小田原駅」から伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」下車、バス「地蔵堂」行き「地蔵堂」下車、徒歩約15分

内 容：「足柄ささら踊」は、江戸時代から明治時代にかけて、少女たちが「盆踊り」として踊っていたものです。明治末期以降は徐々に衰退しましたが、昭和29年頃、地元婦人会が再興しました。踊りでは竹のビンササラを突き、小太鼓をうち2本の扇を用います。種類としては扇踊り、手拭踊り、太鼓踊り、丸々踊りがあります。最近は少女ではなく成人した人達が、浴衣と木綿帯に赤い腰巻を出して、玉だすきで踊ります。

問合せ：南足柄市観光協会 (南足柄市商工観光課内 TEL0465(74)2111)

● 天王祭 三ツ目神楽 (E)

期 日：7月7日 (火曜日) 19時～

場 所：瀬戸神社境内 (横浜市金沢区瀬戸)

交 通：京浜急行線「金沢八景駅」下車、徒歩約3分

内 容：「天王祭」は氏子町内挙っての盛大な祭りです。第一日曜は出御祭です。

お御霊が神輿にお遷りになります。それから三日目の晩に行われるのが「三ツ目神楽」です。「鎌倉神楽」「湯花神楽」又は「職掌神楽」とも呼ばれる古

風な湯立神楽です。境内の一角に置いた大釜に熱湯をたぎらせ、その湯を青竹の御幣でかき回して湯花（沸騰時に沸き上がる湯の泡）を立てるとともに、さらに笹の葉をひたして、境内や訪れた人たちの頭上に振りまき、厄払いをする夏の行事です。この行事では太鼓や龍笛などで神楽が演奏されるが、これは神に捧げる音楽です。古い記録では2、3日かけて、五十七座も演奏されたといわれますが、現在は十座ほどとなります。瀬戸神社及び富岡八幡宮の宮司であり鎌倉の鶴岡八幡宮で職掌と呼ばれた佐野家に伝わる格調高い神楽です。同様の神楽が富岡八幡宮では二月、十一月の「卯倍従」と秋季祭礼の宵宮で奏されるほか、金沢区内の諸社の祭礼においても奏されます。

問合せ：瀬戸神社 ℡045(701)9992

● 第48回相模ささら踊り大会 (B)(C)

期 日：7月8日（水曜日）開場13時 開演13時30分～16時

場 所：IIMURO GLASS 綾瀬市民スポーツセンター（大体育室）（綾瀬市深谷上3-6-

1)

交 通：JR相模線、小田急線、海老名駅下車 バス 釜田経由綾瀬市役所行（51系統）20分
市民スポーツセンター下車 徒歩1分

内 容：ささら踊りとは、竹で作られた「ビンササラ」という楽器を鳴らしながら踊る伝統芸能です。県内6地域7団体のささら踊りを披露する大会で、県指定の無形民俗文化財である「相模ささら踊り」の一つとして「海老名ささら踊り保存会」も出演します。申込は不要ですので直接会場にお越しください。

出演団体

- (1) 葛原芸能保存会（藤沢市）
- (2) 愛甲ささら踊り盆唄保存会（厚木市）
- (3) 足柄ささら踊り保存会（南足柄市）
- (4) 特別出演：深谷保育園
- (5) 長谷ささら踊り盆唄保存会（厚木市）
- (6) 海老名ささら踊り保存会（海老名市）
- (7) 秦野ささら踊り保存会（秦野市）
- (8) 綾瀬ささら踊り保存会（綾瀬市）

問合せ：綾瀬市生涯学習課 ℡0467(70)5637

● 三戸の獅子舞

期 日：7月11日（土）午後1時より

場 所：三戸諏訪神社前広場（三浦市初声町）

交 通：京浜急行線「三崎口」下車、徒歩約20分

内 容：神社前の広場に屋台が着くと、三戸独特の祭り囃子（ぶち合わせ太鼓）を30分ほど叩き続けます。

午後1時より若い衆による二人立ち獅子舞が奉納されます。

その後、祭礼役員や若い衆世話人による玉串の奉納などの神事が行われます。

問合せ：菊名白山神社 ℡046(888)0758

● 厚木神社例大祭 厚木ばやし保存会

期 日：7月11日（土曜日）、12日（日曜日）

場 所：厚木神社（厚木市厚木町3-8）他

交 通：小田急小田原線「本厚木駅」下車、東口より徒歩約10分

内 容：7月11日は午後より市内を車で演奏

7月12日は午前中市内、11時より厚木神社で11時半より御輿と一緒に市内で演奏

問合せ：酒井 TEL046(228)2877

● 有鹿神社例大祭 海老名の祭囃子（E）

期 日：7月11日（土曜日）宵宮

7月12日（日曜日）本宮

場 所：有鹿神社（海老名市上郷1-4-41）

交 通：厚木駅（小田急線、JR相模各線）徒歩15分

内 容：宵宮 13時～21時（予定）

本宮 8時～21時（予定）

【宵 宮】境内社三社の例大祭を斎行され、参心殿の神楽殿清祓式を終え、神楽、演芸の奉納が神楽殿で行われ、奉納終了には絹垣を張り、本殿から神輿に神霊を遷霊する遷座祭を行われます。夕方からは「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する地元の「河原口はやし連」、「上郷はやし連」の山車が地域を巡行します。

【本 宮】例大祭神事が行われ、午前に神輿発御（自動車による渡御）、お昼頃子供神輿発御、午後に発御式、渡御では神職が先導して町内を巡る。西暦偶数年は南回り、西暦奇数年は北回りでの渡御となります。「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する地元の「河原口はやし連」、「上郷はやし連」の山車によるお囃子の演奏や夕方には神楽殿で神楽、演芸が奉納されます。

問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係 TEL046(235)4925（直通）

● 江の島八坂神社天王祭（E）（江の島囃子）（C）

期 日：7月11日（土曜日）宵宮祭

7月12日（日曜日）神幸祭 9時30分より発輿祭神事、10時発輿 八坂神社例祭

場 所：藤沢市江の島・鎌倉市腰越周辺

江島神社（藤沢市江の島2-3-8）

交 通：小田急線「片瀬江ノ島駅」下車、徒歩約10分、江ノ電「江ノ島駅」下車、徒歩約15分、湘南モノレール「湘南江の島駅」下車、徒歩約20分

内 容：天王祭は、江島神社境内末社八坂神社の祭礼で、祇園祭とも言われます。古来本社の祭礼よりも華麗で、江の島囃子(天王囃子)が特色ある芸能として有名です。江の島囃子に使用される楽器は、太鼓・笛・鉦のほか、チャルメラ・銅鑼・柄太鼓・小鼓・三味線です。通り囃子・松囃子・神囃子・竜神囃子・唐人囃子の五つの囃子のグループが囃子を奏でながら神輿と共に島内参道を練り歩きます。神幸祭では八坂神社の神輿が辺津宮から参道の土産物街を下り、弁天橋付近から海中に入り海上渡御を行います。その後、島内東浦を練り、江の島から腰越へ向かいます。龍口寺前で腰越小動神社の神輿と合流。江ノ電が走る道

路を小動神社まで巡行します。神輿を迎える腰越町内も囃子の乗った山車が置かれ、小動神社の神輿が練り回り大変に賑わいます。また、巳年、亥年の祭礼では御神体の御開帳が行われます。なお、祭礼の由来、神幸祭の日程等は江島神社HPに掲載されています。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 Tel0466(27)0101

江島神社 Tel0466(22)4020

● 祇園舟 (E)

期 日：7月12日（日曜日） 大祭式 10時～ 祇園舟神事 引き続き11時頃～

場 所：富岡八幡宮（横浜市金沢区富岡東4-5-41）

交 通：京浜急行線「富岡駅」下車、徒歩約8分

内 容：源頼朝ゆかりの富岡八幡宮に800年以上伝わる、京都の祇園祭と同様の夏越の祓えの神事。長さ70cm幅50cmほどの円形の舟を青茅で作し、縁に1年分12本の御幣、中央に大きな御幣を立てます。その舟に麦のだんごや麦糰の甘酒を供え、氏子中の罪穢を託して沖合に流します。帰路、五丁櫓の和船が競漕するのがこの神事のハイライトです。

問合せ：富岡八幡宮 Tel045(776)3838

● おれまき (E)

期 日：7月14日（火曜日） 17時20分～20時00分

場 所：八坂神社境内（横浜市戸塚区戸塚町4189）

交 通：JR東海道線「戸塚駅」下車、西口より国道沿いに消防署先約15分

内 容：八坂神社には、元禄元年の再興以来、夏祭りにこの踊りが伝えられています。厄霊除けの行事で、氏子の男子十人が女性の身なりでうちわを持ち、翁面をつけた大弊を持つ者も一人います。かつらをかぶった音頭取りが、みんなの先頭に立ち、歌や踊りが終わると町内を一巡しながら要所要所で五色の神札をうちわであおり、道路にまき、人々はこれを争うように拾って帰り、厄除けのお守りとします。かつて江戸や大坂でも行われた行事ですが、今は東海道の戸塚だけ残されているといわれています。

問合せ：横浜市教育委員会生涯学習文化財課 Tel045(671)3284

● 宮城野天王祭（箱根の湯立獅子舞） (A)

期 日：7月15日（水曜日） 14時～ ※神事は13時～

場 所：諏訪神社境内（箱根町宮城野）

交 通：JR東海道線・小田急線「小田原駅」、又は箱根登山鉄道「箱根湯本駅」から桃源台線（バス）「宮城野」下車、徒歩約10分

内 容：箱根町の宮城野と仙石原に伝わる獅子舞は、獅子が湯立神楽を行う、全国でも希少な湯立獅子舞です。宮城野の天王祭での獅子舞は平舞、行の舞、宮めぐりの舞、三本剣の舞、釜の舞、四方固めの舞で構成されます。その中心は釜の舞で行う湯立で、獅子は煮えたぎる湯釜の前に立ち、幣束で「風」の字を切り、湯釜の中に入れて三度かき回して湯を鎮めます。最後に笹の束（宮城野では「湯たぶさ」と呼ぶ）を採って両手で熱湯をかき回し、湯たぶさを引き上げて

湯花を神に献じ、その後氏子の頭上にも振りかけます。この湯花をいただくと一年間病気にかからないと言われています。

問合せ：箱根町教育委員会生涯学習課 TEL0460(85)7601

● 白旗神社例大祭（白旗まつり）

期 日：7月15日（水曜日）～21日（火曜日）

場 所：白旗神社（藤沢市藤沢2-4-7）

交 通：小田急線「藤沢本町駅」下車、徒歩約7分

内 容：白旗まつりは7月15日から21日までの1週間、白旗神社で開催される祭礼で、最終日の21日が例大祭となっています、15日が出御祭、本年は19日が神輿の氏子町内巡幸となります。巡幸経路は年番町会を中心として設定されます。その他、

18日に野外映画祭が開催されます。神輿が巡幸する19日は、朝7時30分に神幸祭

が始まり、8時に神社を出発後、町内渡御が行われます。宮入は12時30分頃を予

定しています。21日夕刻には万灯みこしが渡御します。なお、祭礼期間中は地元町会の白旗横町の囃子が乗った山車が境内に置かれ、賑やかにお囃子が奏でられます(雨天中止)。また、20、21の両日、境内に露店が出店します。15日の出御祭から21日の還御祭までの正式な行事日程や神輿の巡行経路は祭礼日近くに正式に発表されますので、白旗神社公式HPにて必ずご確認ください。行事予定は次の通りです(予定)。7月15日 出御祭 19時、18日 野外映画祭 19時30分（境

内）、19日 7時30分式典 8時神輿出発 宮入り12時30分、21日万灯みこし渡御 18

時藤沢第一中学近くの白旗稻荷神社を出発、翼の丘を経由し20時宮入。

問合せ：白旗神社 TEL0466(22)9210

● 澁谷神社例大祭 海老名の祭囃子（E）

期 日：7月18日（土曜日）宵宮

7月19日（日曜日）本宮

場 所：澁谷神社（海老名市門沢橋4-11-14）

交 通：門沢橋駅（JR相模線）徒歩8分

内 容：【宵宮】10時から17時まで「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する「門澤橋澁谷囃子保存会」が境内及び市区内を巡行し、19時30分前後には舞台での演奏が行われます。

【本宮】10時～12時、13時～20時30分頃まで「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する「門澤橋澁谷囃子保存会」が境内及び市区内を巡行します。

問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係 TEL046(235)4925（直通）

● 根府川寺山神社の鹿島踊り（C）

期 日：7月18日（土曜日）～19日（日曜日）

18日 宵宮の鹿島踊り 19時頃～

19日 出の鹿島踊り10時頃～／納めの鹿島踊り17時頃～

場 所：寺山神社境内(小田原市根府川)

交 通：JR東海道線「根府川駅」下車、徒歩約3分

内 容：鹿島踊りは、航海安全と豊漁、さらには、悪疫退散の祈願を主体とした神事舞踊の性格が濃いもので、鹿島神宮（茨城県）の信仰から起ったものと考えられています。現在も、小田原市から静岡県東伊豆町北川までの地域に伝承されています。杓・日形・月形の役を配し、踊りには加わらない警護の役が四隅に立ちます。

問合せ：小田原市文化部文化財課 TEL0465(33)1717

● 海南神社夏例大祭（E）

期 日：7月18日（土曜日）12時30分～21時仮宮

7月19日（日曜日）12時30分～23時30分神輿奉還

場 所：海南神社及び三崎港周辺

交 通：京浜急行線「三崎口」下車、京急バス2番乗り場より通り矢行き、城ヶ島行き、

三崎港、浜諸磯行きで「三崎港」下車、海南神社へは徒歩約3分

内 容：三浦市三崎に伝わる夏例大祭の神輿渡御は、大太鼓、猿田彦・風・雨の面が先導し、その後に、大きな2頭の獅子、山車、神輿、山車の順で行われます。1頭の獅子頭を4人で持ち、胴部となる布の部分を20人ぐらいでつかみ、その後に1人が尾を持ち、木遣師の唄に合わせ邪気や疫病を祓いながら練り歩きます。神輿もまた、木遣師の唄により担ぎ上げ渡御します。

問合せ：海南神社 TEL046(881)3038

● 相模里神楽垣澤社中・神楽奉納公演（E） 予定

期 日：7月19日（日曜日）18時～20時

場 所：荻野神社「神楽殿」（厚木市上荻野1）TEL042(241)1633(龍蔵神社)

交 通：小田急小田原線「本厚木」駅北口より、神奈川中バス、半原行(田代経由またはバスセンター経由)上荻野車庫行・まつかげ台行乗車、荻野神社入口下車、徒歩約1分。東名厚木ICから車で約20分(境内に駐車可)

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。

(神楽殿) 18時～21時(神楽奉納)

演目：寿式三番叟付五人囃子、他

※演目の変更や時間の遅延もあります。

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● 禰宜舞（E）

期 日：7月19日（日曜日）14時頃～ ＊9月20日（日曜日）にも行われます。

場 所：白幡八幡大神拝殿（川崎市宮前区平4-6-1）

- 交 通：東急田園都市線「宮前平駅」下車、南口1番又は北口4番乗り場より「溝15系統」バスにて「白幡八幡前」下車、徒歩3分
東急田園都市線、JR南武線「溝の口駅」下車、南口2番乗り場より「溝16系統」バスにて「白幡八幡前」下車、徒歩3分、南口3番乗り場より「溝17系統・18系統」バスにて「平」下車、徒歩5分
小田急線、JR南武線「登戸駅」生田緑地口より「登05系統」バスにて「平」下車、徒歩5分
- 内 容：稲毛惣社である白幡八幡大神の夏祭りに締太鼓一つだけを伴奏に円を描くように舞われます。四方祓い（素面）・猿田彦命・天鈿女命・天児屋根命・彦火火出見命・大山祇命の五座を面と衣装を替えて舞います。
新編武蔵風土記稿の神主小泉家について記された中に「村内の八幡・神明・五所稻荷などの神職を兼務む…。近村神主の少なきゆえ、何れの村にても祭事ある毎に、必ず信濃に託して今の俗に用ゆる所の十二座及び五座等の神楽を行えり」とあって、この五座の舞が禰宜舞です。
舞の起源ははっきりしませんが、慶長5年（1600）徳川家康関ヶ原御出陣の祭戦勝御祈願の為、平村白幡八幡社の神主小泉家に太々神楽を興行させたのが始まりと言われ、今日に伝わっています。
江戸初期には正月3日、江戸城に上り将軍の前で舞ったと言われています。
現在では各神社の夏祭・例大祭に家内安全を願い奉納されています。この禰宜舞は一子相伝にて伝えられ、舞われています。
- 問合せ：白幡八幡大神社務所 TEL044(977)5639

● 長井の祭木遣り唄

- 期 間：7月19日（日曜日）8時～12時（時間は予定）
場 所：第六天神社及び井尻町内
交 通：京浜急行線「三崎口」下車、京急バス3番線より「荒崎」行き、「井尻」下車、神社まで徒歩5分
- 内 容：相模湾に面した漁村集落の祭礼では、山車や神輿の渡御にあたり、木遣りが唄われるのが特徴です。
長井井尻町内には、昔から唄われてきた木遣り唄が保存伝承されています。
7月19日、井尻町内の氏神様である第六天神社の祭礼には、この木遣り唄を神社に奉納します。
午前8時頃から井尻木遣保存会による神社へ木遣り唄を奉納したあと、午前9時ごろから雌雄の獅子を先頭に、子ども達が引く万灯を保存会の人達が囲むようにして、木遣りを唄いながら熊野神社の神輿、山車とともに井尻町内を巡行します。万灯の巡行は、午前中で終了します。
- 問合せ：神奈川県民俗芸能保存協会 飯島 TEL046(848)2191

● 仙石原天王祭（箱根の湯立獅子舞）（A）

- 期 日：7月19日（日曜日）
場 所：諏訪神社境内ほか（箱根町仙石原）
交 通：JR東海道線・小田急線「小田原駅」、又は箱根登山鉄道「箱根湯本駅」から

桃源台線（バス）「仙石」下車、徒歩約3分

内 容：箱根町の宮城野と仙石原に伝わる獅子舞は、獅子が湯立神楽を行う、全国でも希少な湯立獅子舞です。ただし、仙石原の天王祭では例年、獅子は湯立を行わず天王神輿を先導し、お囃子とともに仙石原全域を巡行します。獅子と神輿は各集落を回り、用意された御神酒所で剣の舞を舞って、集落の安全を祈ります。また、これとは別の獅子舞の集団が厄払いを希望する店舗や美術館、ゴルフ場、旅館等を巡って「厄払い神楽」を行います。

問合せ：箱根町教育委員会生涯学習課 Tel0460(85)7601

● 三増の獅子舞（C）

期 日：7月19日（日曜日） 演舞 15:00頃～

場 所：諏訪神社（愛川町三増587番地）（★雨天時は三増児童館で実施）

交 通：小田急線「本厚木駅」から神奈中バス「上三増」行き「三増」下車すぐ

内 容：約300年前から行われていると伝わる一人立ち三頭獅子舞です。

3時頃から諏訪神社境内で舞を始めます。獅子は父の巻獅子、母の玉獅子、子の剣獅子の3頭で、この他、姥面をかぶった教導役としてのバンバ、露はらいの天

狗、笛・唄・ササラ等が加わります。

問合せ：三増獅子舞保存会事務局 菊地原賢一 Tel090(1118)3993

愛川町郷土資料館 Tel046(280)1050

※ 見学者専用の駐車場は、ありません。駐車スペースは三増児童遊園地（諏訪神社裏側）にありますが、関係者用の20台分程度です。余裕があれば駐車可能ですが、例年では約1時間前には満車です。

● 佐島の御船歌（E）

期 日：7月19日（日曜日）9時～17時（時間は予定）

場 所：熊野神社他（神輿の遷座場所で御船歌を奉納）

交 通：JR横須賀線「逗子」から京急バス佐島マリーナ入口行き又は、京浜急行逗子線「新逗子駅」から佐島マリーナ入口行きで約40分「佐島漁港前」下車

内 容：佐島では御船歌が民衆の中にとけこみ歌いつがれ、祭礼には航海の安全を祈り大漁を願い、そして、日頃の感謝を込めて御船歌を神社や神輿の巡幸途中の遷座場所で、佐島御船歌保存会により奉納します。

曲目には「めでた」「きしゅうきのたに」「ほめことば」などの他に、船渡し（船渡御）のときに歌う「おふねのりだす」「みなといり」「いかりやれ」など

があります。

問合せ：横須賀市教育委員会事務局教育総務部生涯学習課 Tel046(822)8484

● 福田神社囃子獅子舞（E）

期 日：7月19日（日曜日）10時頃～18時頃

場 所：福田神社（大和市福田8-8-2）

交 通：小田急線「桜ヶ丘駅」下車、西口を出て交差点を直進し、富士見橋の手前、桜ヶ丘学習センター入口を右に入り、道なりに進み突き当たり右に約120m左側の小高い地に福田神社が鎮座しています。徒歩約10分。

内 容：福田神社囃子獅子舞は、昭和44年大和市指定重要無形民俗文化財に指定（所在地：大和市福田8-8-2）を受けました。江戸時代末期より伝承された伊勢大神楽系で下町ばやしと称し百年以上の歴史を持っています。囃子方は笛一・締太鼓二・大太鼓一・鉦一の五人囃子を伴奏として、踊りは獅子とおかめ、ひょつとこが登場します。曲目は屋台・鎌倉・四丁目・岡崎が伝承され、毎年、福田神社の祭礼で上演されます。夏の例大祭は、海の前日・前日の日曜日に神輿渡御が盛大に行われます。山車が神輿を先導し、午前10時に宮出をし11ヶ所の神酒所へ巡行します。山車の上では居囃子が祭太鼓を叩き、獅子は神酒所で舞って清め、おかめ、ひょつとこの馬鹿面も一緒に舞踊って賑やかに盛り上げます。全ての巡行が終わり、神輿の宮入は、18時頃に終了します。

問合せ：大和市役所健康・スポーツ部文化振興課 市史・文化財係 TEL046(260)5225

● 南湖麦打唄（E）

期 日：7月19日（日曜日）

場 所：八雲神社境内（茅ヶ崎市南湖4-4-29）

交 通：八雲神社までは「茅ヶ崎駅」より徒歩約20分。又は駅南口よりバス、松尾・浜見平団地循環「仲町」下車、徒歩約7分

内 容：南湖麦打唄保存会によって八雲神社に奉納されます。かつては市内各所で歌われていましたが、現在は南湖地区にのみ伝承されています。

問合せ：茅ヶ崎市社会教育課文化財保護担当 TEL0467(81)7226（直通）

南湖麦打唄保存会 会長 石井忠彦 TEL0467(38)4351

● 御幣参り

期 日：7月20日（月曜日・祝日） 13時10分頃

場 所：茅ヶ崎市南湖地区内

交 通：八雲神社までは「茅ヶ崎駅」より徒歩約20分。又は駅南口よりバス、松尾・浜見平団地循環「仲町」下車、徒歩約7分

内 容：浜降祭が終わった午後に南湖地区だけでひっそり行われる浜降りの神事です。

現在浜降祭に参加する南湖地区の神社は5社ありますが、そのうち、八雲神社（茅

ヶ崎市南湖4-4-29）が南湖の総鎮守であったと言われており、この行事も八雲神社が中心となります。

浜降祭から帰還した八雲神社の大神輿は、午前中地元の町内を渡御しますが、昼頃に神社に戻ります。その際に大神輿から白木造りの「御幣宮」という小さな宮形神輿に神霊を遷します。御幣宮は白丁姿の氏子に担がれて、太鼓や長持等の行列を伴って南湖全町内の要所を廻り、神事を行います。巡行途中、海岸に至って浜辺で神事を行い、御幣宮を担いで海中に入って禊をします。

この行事は江戸期に起った或る諍いを、名主の屋号「江戸屋」というお宅が仲

裁に入って解決したことに対する御礼として始められたと言われており、現在でも東海道沿いに屋敷を構える同家には一行が必ず立ち寄ることになっています。

なお、南湖地区内では浜降祭の時、神社の鳥居や特定の辻の上空に藁蛇の飾りを作って飾り付ける習俗もあり、見学の際にはこちらも御注目ください。

問合せ：茅ヶ崎市社会教育課文化財保護担当 TEL0467(81)7226（直通）
日枝神社（南湖八雲神社宮司兼務） TEL046(267)2939

● 茅ヶ崎海岸浜降祭（C）

期 日：7月20日（月曜日・祝日）4時～9時頃

4時頃～ 神輿入場開始

7時頃～ 参加全神社祭場着御し次第、浜降祭合同祭典

9時頃～ 祭典終了後直ちに、お立ち・退場

場 所：茅ヶ崎市南湖、茅ヶ崎西浜海岸

交 通：JR東海道線「茅ヶ崎駅」下車、駅南口より徒歩約20分

また、茅ヶ崎駅南口から海岸周辺と国道134号線は大幅な交通規制が行われます。駐車場、駐輪場は有りませんので、自家用車で行かれる方は十分に御注意ください。祭礼日近くに、浜降祭HPに交通規制地図がアップされますので、必ず御確認ください。

内 容：浜降祭は相模国一之宮寒川神社の御礼渡御伝承と茅ヶ崎市浜之郷の鶴嶺八幡社相殿佐塚明神の浜降り行事が一体となった行事で、現在は茅ヶ崎・寒川両市町の34神社が所有する大小合せた約40基の神輿が参加します。早朝に各神社を宮立ちした神輿は日の出と共に続々と南湖の浜に集結します。砂浜に設けられた各駐輿所に着御し次第、寒川神社宮司を斎主として、多数の神職の奉仕による合同祭典が行われます。入退場時に「どっこいどっこい」の掛け声と、タンス・本坪鈴の音も勇ましく砂浜に神輿が乱舞し、数社は海水でのお清めの儀式「みそぎ」の為、白波立つ海中に進入してしばし揉み合う様は圧巻です。なお、浜降祭の前後には各地区で神輿に御霊を入れる神事や神輿の地区内の渡御等も行われ、祭囃子演奏や各種郷土芸能が公開される地区もあります。

問合せ：茅ヶ崎海岸浜降祭実行委員会 TEL0467(75)0004

● 金田走湯神社の祭り（担ぎ屋台）

期 間：7月21日（火曜日）17時頃～23時頃

場 所：走湯神社周辺（三浦市南下浦町金田）

交 通：京浜急行線「三浦海岸」下車 釧崎方面行きバス「金田」下車徒歩2分

内 容：三浦半島南部の夏祭りは、屋台を若い衆が担ぎ、囃子たて、神輿と共に町内を練り歩いていましたが、近年、祭りに参加する若者の減少や交通事情によりその姿が、引き屋台に変わって来ました。

三浦市では、今も昔ながらの貴重な担ぎ屋台が、農漁村地域の祭りで見られます。しかし、交通事情等の関係で国道、県道を通る際には台車を付け、運行しますが、神社近くになると担ぎ屋台へと変わり、神社まで時間を掛け、屋台の中で囃子立てながら、若者が勇壮に担ぐ姿が見られます。

問合せ：菊名白山神社 Tel046(888)0758

● 貴船神社の船祭り（A）

期 日：7月24日（金曜日）9時30分～と7月25日（土曜日）8時～

※時間は予定ですので、お問い合わせください。

場 所：真鶴港及び町内（真鶴町）

交 通：JR東海道線「真鶴駅」下車、ケープ真鶴行きバスで、「魚市場」または「宮の前」下車すぐ。なお、駅から徒歩約20分。

内 容：日本三大船祭の一つで、祭の中心は御座船による神輿渡御と鹿島踊りの上演であり、船に寄せられた神輿は囃子方の乗った船ともども湾内を渡御して御座所につき、そこで鹿島踊りが奉納されます。また、神迎えの際に二艘の櫓伝馬による勇壮な競漕が行われます。

問合せ：真鶴町産業観光課 Tel0465(68)1131

● 南山田の虫送り（E）

期 日：7月25日（土曜日）

場 所：山田神社～夏みかん公園（横浜市都筑区南山田町）

交 通：東急東横線「綱島」下車、バス（綱44～48系統）「宮の下」下車、階段上

内 容：稲の害虫を松明の灯りで集め、町の外まで送り出す行事です。現在は水田も無くなり、町内に降りかかる災いを害虫に見立てて行っています。7月土用入り後の土曜日の夕方、氏神の山田神社に集まり、社殿を左に三回まわってから南山田の地域を巡ります。獅子頭を先頭に行列を組み、独特の囃子「虫送りの曲」に乗せて子供たちが松明を掲げます。最後は公園で松明を集めて燃やし、その周囲で囃子連によるひょっこり踊り、獅子舞が披露されます。

問合せ：横浜市教育委員会生涯学習文化財課 Tel045(671)3284

● 第19回藤沢宿・遊行の盆

期 日：7月25日（土曜日）、7月26日（日曜日）

場 所：25日藤沢駅北口サンパール広場、ミナパーク前周辺

26日遊行寺（藤沢市西富1-8-1）、藤沢宿交流館（藤沢市西富1-3-3）

交 通：ミナパークへはJR東海道線「藤沢駅」北口から徒歩すぐ

遊行寺へはJR東海道線「藤沢駅」北口下車、徒歩約15分、又は「藤沢駅」北口からバス、原宿、戸塚方面行き「藤沢橋」下車すぐ

内 容：藤沢市内の舞踊団体、創作舞踊遊行ばやしの他、ゲストとして秋田県羽後町西馬音内盆踊り、岐阜県郡上八幡の郡上おどり、東京高円寺阿波踊りが出場する予定です。25日は藤沢駅北口サンパール広場、ミナパーク前、26日は遊行寺境内と藤沢宿交流館ステージで踊ります。また、盆踊り以外にも地元の祭囃子、遊行寺踊り念仏など様々な民俗芸能が登場します。その他に、藤沢駅北口のサンパール広場、遊行寺近くの藤沢宿交流館でも各種イベントが行われます。本年のイベント内容やスケジュールの詳細は、開催日近くに公式HPに発表されますので、必ずご確認ください。

問合せ：遊行の盆実行委員会 Tel0466(27)8888または公式HP、公式Facebook

● **田村八坂神社例大祭（田村ばやし）**（E）

期 日：7月25日（土曜日）宵宮、7月26日（日曜日）例大祭

場 所：田村八坂神社（平塚市田村8-21-30）

交 通：JR東海道線「平塚駅」北口からバス、田村経由、本厚木駅南口方面行き、又は小田急線「本厚木駅」南口よりバス、平塚駅行き「田村十字路」下車、徒歩5分

内 容：田村八坂神社の祭囃子として演奏されてきました。旧神田村で「神田囃子」と呼ばれていましたが、江戸の神田と混同されるとして「田村ばやし」と呼称するようになりました。鎌倉時代、田村へ来た鎌倉4代将軍九条(藤原)頼経に随行していた京都の楽人から伝えられたという伝承があり、およそ800年の歴史を持つとされています。田村ばやしは「屋台、宮昇殿」「昇殿、神田丸」「唐楽鎌倉、仕丁舞、印場」の7曲、3組から構成され、笛のリードで曲が変化してゆくことに特長があります。日曜日の例大祭では神輿渡御に合わせてお囃子車(屋台)も一緒に巡行します。19時に宮入、その後八坂神社境内にてお囃子と印場踊りが奉納演奏されます。

問合せ：平塚市社会教育課 TEL0463(35)8124

● **辻堂諏訪神社例大祭（辻堂諏訪神社人形山車）**（E）

期 日：7月26日（日曜日）宵宮祭、7月27日（月曜日）本祭

場 所：諏訪神社（藤沢市辻堂元町3-15-15）

交 通：JR東海道線「辻堂駅」南口下車、徒歩約10分

内 容：辻堂諏訪神社の例大祭で人形山車(藤沢市指定有形民俗文化財)が曳行されます。

明治初期以来のものと伝えられている4台の人形山車は、東・西・南・北町の各町内会に保存されています。山車の上には、源頼朝（東町）、源義家（西町）、武内宿禰（南町）、神功皇后（北町）の等身大の人形が飾られています。屋台では太鼓や笛などのお囃子が奏でられます。7月23日は神輿が町内を練る神幸祭、26日は宵宮、27日に人形山車が神社まで曳行されます。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 TEL0466(27)0101

鵜沼皇大神宮 TEL0466(24)5590

● **上宮田諏訪神社の祭り（担ぎ屋台）**

期 日：7月27日（月曜日）19時～22時

*7月26日（日曜日）から二日間の祭礼ですが、担ぎ屋台は7月27日のみとなります。

場 所：諏訪神社周辺（三浦市南下浦上宮田）

交 通：京浜急行線「三浦海岸」下車 徒歩15分

内 容：三浦半島南部の夏祭りは、屋台を若い衆が屋台を担ぎ囃子たてて、町内を練り歩いていましたが、近年、祭りに参加する若者の減少や交通事情の変化の伴いその姿が、引き台車に変わってきました。三浦市では、今も昔ながらの貴重な担ぎ屋台が、農村地域の祭りで見られます。交通事情の関係で国道、県道を通

る際は、台車に乗せ運行しますが、神社近くになると、担ぎ屋台となり、神社まで時間を掛け、屋台の中で囃子たてながら、若者が勇壮に担ぐ姿が見られます。

問合せ：菊名白山神社 TEL046(888)0758

● 不動尊祭 海老名の祭囃子（E）

期 日：7月28日（火曜日）

場 所：三島社（海老名市社家2-13-1）

交 通：JR相模線 社家駅 徒歩9分

内 容：14時～19時（予定）

地域の疫病退散や繁栄を願い、三島社の境内に奉安されている不動明王立像二軀等五軀の仏像と両界曼荼羅一對の御開帳法要や「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する地元の「社家はやし連」によるお囃子の演奏や奉納演芸を行います。

問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係
TEL046(235)4925（直通）

● 鈴鹿明神社例大祭

期 日：7月31日（金曜日）宵宮祭 8月1日（土曜日）例大祭 ※詳細はご確認ください。

場 所：鈴鹿明神社（座間市入谷西2-46-1）、入谷地区一帯

交 通：JR相模線「入谷駅」下車、徒歩約10分、又は小田急線「座間駅」下車、徒歩約10分、東名高速「町田I.C」から約10km、又は圏央道「県央厚木I.C」から約4Km

内 容：宵宮祭では、本殿で神事が行われ、入谷地区の祭囃子保存団体3団体（鈴長・星の谷・皆原）が境内に山車を出して集い祭囃子を披露するほか、入谷歌舞伎による演技が奉納されます。

例大祭では、神社を出発した御神輿が入谷地区一帯を巡幸。

問合せ：座間市教育委員会生涯学習課 TEL046(252)8431
鈴鹿明神社社務所 TEL046(256)1122

〈8月〉

● 素鰲神社祭典(吉浜)鹿島踊り奉納（B）（C）

期 日：8月1日（土曜日）9時30分頃～

場 所：素鰲神社境内（湯河原町吉浜）

交 通：JR東海道線「湯河原駅」下車、真鶴駅行きバスで約5分、
「海の家」下車

内 容：素鰲神社の鹿島踊りは、疫病の送り払い、大漁と豊作、石材産出の無事とそれを輸送する海上安全を祈願したものです。踊り手は白丁を着て烏帽子をかぶり、太鼓役、鉦役、黄金柄杓役、日形役、月形役などで構成されています。

問合せ：湯河原町教育委員会 社会教育課 TEL0465(62)1125

● 浅間大神祭礼 海老名の祭囃子 (E)

期 日：8月1日 (土曜日)

場 所：浅間大神 (海老名市下今泉5-8-15)

交 通：小田急・相鉄・JR相模各線 海老名駅西口 徒歩20分

内 容：「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する地元の「下今泉はやし保存会」により、15 時頃～屋台にて地域内巡行、18 時頃より神楽殿にてお囃子の演奏、19 時頃より創作太鼓が演奏されます。

問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係

TEL046(235)4925 (直通)

● 川崎山王祭りの宮座式 (D) (川崎山王祭) *宮座式は原則非公開です。

※8月から6月に変更となりました。

● 長徳寺盆踊り

期 日：8月1日 (土曜日) 18時頃～

場 所：長徳寺 (相模原市緑区大島756)

交 通：JR横浜線「橋本駅」南口下車、上大島行きバスで、終点「上大島」下車、徒歩約10分

内 容：長徳寺盆踊りは、お寺の境内で住職が般若心経を唱えた後、踊りが始まるのが特徴です。この盆踊りは不況に苦しむ昭和初期に、当時の長徳寺住職が地域住民を励ますため誕生したもので、「長徳寺盆唄」、「大沢興進歌」がその中心です。いくたびかの中断、再開を経て平成2年より毎年8月上旬に開催され、現在では上大島の大きな行事になっています。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 TEL042(769)8371

● 新田名音頭

期 日：8月1日 (土曜日) 19時30分頃～

場 所：田名中学校校庭 (相模原市中央区田名5091-1)

交 通：JR横浜線「相模原駅」下車、南口からバス「水郷田名」「水郷田名、半原」行き「上田名」下車、徒歩約3分

内 容：新田名音頭は、かつて大山道の渡し場と鮎漁で賑わった水郷田名の情緒あふれる歌詞が盛り込まれた音頭です。田名の各地区で踊りの講習会が開催され、田名ふるさと祭りには、新田名音頭ほか数曲が盛大に踊られます。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 TEL042(769)8371

● お馬流し (C)

期 日：8月1日 (土曜日) 「本牧神社例祭」「お馬迎え式」

8月2日 (日曜日) 「お馬送り式」「お馬流し」

場 所：本牧神社 (横浜市中区本牧和田19) 及び本牧漁港 (横浜市中区錦町7)

交 通：本牧神社へはJR根岸線「根岸駅」下車、1 番乗場よりバス58、99、101系統で「三之谷」下車、少し戻って新本牧公園を右折

本牧神社から本牧漁港へは、「三之谷」から58系統のバスで「小港橋」下車、道をはさんだ反対側の小港橋から26系統のバス「シンボルタワー行き」で「港湾カレッジ」下車すぐ

内 容：お馬流しは、茅で作った体長約1mの馬首亀体のお馬さまに、本牧中のあらゆる災厄を託し、本牧の沖合約5kmの海上に流し去る行事で、1566（永禄9）年から450年以上も続いています。お馬流しは土曜日、午前9時にお馬作りの家・羽鳥家より「お馬出し」、9時30分に本牧神社の大鳥居から社殿に「お馬迎え」、10時から例祭を斎行します。日曜日は午前8時に本牧神社社殿で「お馬送り式」、8時30分に社殿から「お馬さま」を送り出し、9時に奉戴車にて神社鳥居前を出発し、本牧の各町を車列にて巡幸供奉して本牧漁港へ、10時30分本牧漁港から出船、11時東京湾海上で「お馬流し」を行います。

問合せ：本牧神社 TEL045(621)7611

● 西小磯の七夕（西小磯西地区）（B）（C）

期 日：8月2日（日曜日）

場 所：大磯町西小磯西・西小磯西老人憩いの家

交 通：JR東海道線「大磯駅」からバス磯07系 大磯プリンスホテル行、磯13系 西公園前行、大磯駅(循環)行、磯14系 二宮駅北口行又は「平塚駅」からバス平47系 二宮駅南口行「城山公園前」下車、徒歩約3分

内 容：2日、子どもたちが竹飾りを担いで地区内の道祖神・井戸水神・辻・神社等を巡ってお祓いを行います。途中、お面をかぶって七夕踊りを踊ります。午後から竹飾りで竹神輿を作り、竹神輿を担いで地区内を回ります。
※竹神輿は翌年1月の左義長で燃やす予定です。

問合せ：大磯町教育委員会教育部生涯学習課 TEL0463(61)4100

● 関の首長囃子（青山神社例大祭）

期 日：8月3日（月曜日）～ 8月4日（火曜日）

場 所：青山神社（相模原市緑区青山1013）、関地区内

交 通：JR横浜線・JR相模線・京王相模原線「橋本駅」北口から2番のりば「鳥居原ふれあいの館」行き「関」下車すぐ、または1番のりば「三ヶ木」行き終点下車、1番のりば「半原」行き「関」下車すぐ

内 容：関の囃子ともいわれ、明治初期に多摩の小曾木村黒沢（現青梅市黒沢）の柳川長吉により伝えられた。昭和44年（1969）に首長囃子関保存会が結成され現在に至る。曲目は屋台、四丁目、モドキ、子守、インバ、昇殿、古囃子の7曲で、太鼓、笛、鉦の構成である。例祭では町内を巡行する山車の上で獅子・狐踊りやヒョットコ・オカメなどの面をつけた踊りを伴い演奏される。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 TEL042(769)8371

● 西小磯の七夕（西小磯東地区）（B）（C）

期 日：8月6日（木曜日）～8月7日（金曜日）

場 所：大磯町西小磯東・西小磯東老人憩いの家

交 通：JR東海道線「大磯駅」からバス磯07系 大磯プリンスホテル行、磯13系 西公園

前行、大磯駅(循環)行、磯14系 二宮駅北口行又は「平塚駅」からバス平47系
二宮駅南口行「白岩大門」下車、徒歩約3分

内 容：6日は13時頃から、子どもたちが竹飾りを担いで地区内の道祖神・井戸・水神
・辻・神社等を巡ってお祓いを行います。老人憩いの家を出発し、地区内を

周し終えたら同施設に戻って休憩を取り、その後もう一周お祓いに廻ります。
夕方、竹飾りで竹神輿を作り、担いで地区内を回ります。
翌朝、竹神輿を担いで海岸に行き、泳いで沖へ流します。今は泳いで流す役は
大人が行っています。

問合せ：大磯町教育委員会教育部生涯学習課 TEL0463(61)4100

● 鳥屋の獅子舞 (C) (E)

期 日：8月8日(土曜日) 道行 15時・神社奉納 16時頃～(雨天順延)

場 所：諏訪神社境内(相模原市緑区鳥屋1140)

交 通：JR横浜線・JR相模線、京王線「橋本駅」から「鳥居原ふれあいの館」行き
バス(橋07系統)、「鳥屋郵便局前」下車、徒歩約3分

内 容：父・母・子の3頭からなる三匹獅子舞で、他にササラを持った子ども3人と笛、
唄で構成されます。獅子舞は17世紀後半頃に清真寺の10世円海法印が自ら獅子
頭を彫り、武州八王子方面から伝えたといえます。諏訪神社の例祭に奉納され
ます。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 TEL042(769)8371

● 根岸の榊神輿 (E)

期 日：8月9日(日曜日)

場 所：根岸町(横浜市中区)及び根岸八幡神社(横浜市磯子区)

交 通：JR 根岸線「根岸駅」下車、徒歩 15 分

内 容：根岸の榊神輿は、根岸八幡神社の例祭に際し、根岸町で三年に一度行われる、
榊で制作した神輿を中心とした祭礼行事で、榊祭りとも呼ばれています。

榊神輿の制作は、祭りの五日前から始まり、仕入れた榊を白滝不動の滝壺に一
晩浸し、榊の枝を必要な長さに切りながら、2メートル四方、高さ 1.6 メートル、
重さ 400 k g の四角錐状に神輿を作り上げます。

祭り当日は、趣向を凝らした色とりどりの榊儒袴を着た担ぎ手によって町内を
巡行します。かつては根岸町を含む四つの地区が輪番で榊神輿の制作に当たり
毎年行われていましたが、戦争で中断、戦後は交通規制で断続的に行われ、昭和
六十年に復活しました。他の地域で行われていた同様の祭礼行事が途絶えた今、
市内に残る唯一のものです。

問合せ：横浜市教育委員会生涯学習文化財課 TEL045(671)3284

● 遠藤ささら踊り (C)

期 日：8月16日(日曜日) 13時頃～

場 所：玉雄山寶泉寺(藤沢市遠藤6094)

交 通：JR東海道線「辻堂駅」北口からバス、綾瀬車庫行き「宝泉寺」下車、徒歩すぐ、

又は慶応大学行き「刈込」下車、徒歩約5分、辻堂駅から慶応大学行きは約20分間隔で運行されています。

内 容：寶泉寺の境内でささら踊りを踊ります。遠藤ささら踊りは輪踊りで、数人が太鼓、3人に1人くらいの割合でささらを持ち、残りは手拍子で、あげ手のうたう唄に続いて一同がうたい踊ります。平成20年に「相模のささら踊り」として県の無形民俗文化財に指定されました。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 TEL0466(27)0101

● 箱根強羅の大文字焼き

期 日：8月16日（日曜日）19時30分～20時10分

※雨天の場合は17日（月曜日）に延期

場 所：強羅全域（箱根町）

交 通：箱根登山鉄道「強羅駅」下車

内 容：大正10年（1921年）に避暑客への慰安と、有縁無縁の霊を慰めるうら盆の送り火を兼ねて始められました。明星ヶ岳中腹に大きな「大」の字が炎で描かれます。当日は花火もあわせて打ち上げられます。

問合せ：箱根強羅観光協会 TEL0460(82)2300

● 三戸のオショロ（お精霊）流し（A）

期 日：8月16日（日曜日）6時頃より船を作り始め、8時に船を流す（送る）。

場 所：三戸海岸（三浦市初声町）

交 通：京浜急行線「三崎口」下車、徒歩約20分

内 容：三戸ではお盆にお迎えした精霊（オショロ様）を西方浄土に送るため、4m程の麦わら船を作り、花飾りや御幣、施餓鬼旗を立て、そこに麦わらを円筒型に束ね、色紙で着飾ったオショロ様や供物を乗せます。僧侶の読経後、8時に、セイトッコと呼ばれる少年達によって、泳いで沖に引かれていきます。そして、地区の人達がオショロ船を見送ります。

問合せ：三浦市役所市民部文化スポーツ課 TEL046(882)1111（内線）430

● 相原八幡宮例大祭 相模里神楽垣澤社中・神前舞奉納（E）未定

期 日：8月16日（日曜日）11時～12時 ※神事での神前舞のみ奉納

場 所：相原八幡宮「拝殿」（相模原市緑区相原町6-5-26）

交 通：JR横浜線 相原駅から西約1.5kmの住宅街にあります。

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。

「拝殿」（11時神事開始）神前舞奉納

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● 相原諏訪神社例大祭 相模里神楽垣澤社中・神前舞奉納（E）未定

期 日：8月16日（日曜日）13時～14時 ※神事での神前舞のみ奉納

場 所：相原諏訪神社「拝殿」（町田市相原町1743）

交 通：JR横浜線 相原駅から約390m、徒歩約9分。

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。

「拝殿」（13時神事開始）神前舞奉納

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● 下山口神明社例大祭（鎌倉神楽）

期 日：8月16日（日曜日）11時を予定

場 所：下山口神明社（葉山町下山口1455）

交 通：JR横須賀線「逗子駅」、又は京浜急行「新逗子駅」よりバス、葉山、長井方面行き「葉山」下車

内 容：葉山御用邸前に鎮座する下山口神明社の例大祭にて鎌倉神楽が奉納されます。

問合せ：森戸大明神社務所 TEL046(875)2681 <http://www.moritojinja.com/>

● 鵜沼皇大神宮例大祭（湯華神楽・鵜沼皇大神宮人形山車）（E）

期 日：8月17日（月曜日）12時頃～16時頃

場 所：鵜沼皇大神宮（藤沢市鵜沼神明2-11-5）

交 通：JR東海道線「藤沢駅」北口からバス、上村（かむら）経由高山車庫、辻堂駅行き「烏森公園前」下車、徒歩約1分、又は神明町経由高山車庫行き、茅ヶ崎駅北口行き「神明町」下車、徒歩約3分。神明町経由の方が本数は多いです。

内 容：人形山車（藤沢市指定有形民俗文化財）は例祭日の8月17日に曳行されます。当日

は神社から300mほど離れた路上で、9台の人形山車が組み立てられ、その後、山車の上では子供たちによるお囃子が奏でられます。15時～16時頃、神社境内まで引かれて行き、お囃子の鳴らし合いが行われ祭礼は終わります。山車が神社に到着するまでの間に、神社拝殿では神事が行われ、式典の中で十二座からなる湯華神楽（藤沢市指定無形民俗文化財・皇大神宮では湯立神楽を湯華神楽と称しています）が奉納されます。湯華神楽は16時頃からを予定しています。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 TEL0466(27)0101

鵜沼皇大神宮 TEL0466(24)5590

● 大島諏訪明神の獅子舞（C）（E）

期 日：8月23日（日曜日）道行14時頃～、境内奉納15時頃～

場 所：大島諏訪明神（相模原市緑区大島594）

交 通：(1)JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「上大島」行きバス（橋33・3系統）終点下車、徒歩約10分

(2)JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「相模川自然の村」行きバス（橋30系統・市コミュニティバス）、「溪松園前」下車、徒歩約15分

内 容：この獅子舞は、文化文政年間に奥多摩から伝えられたといわれる1人立ちの3匹獅子舞で、剣獅子・巻獅子・雌獅子・赤鬼が笛と唄の伴奏に合わせて踊ります。

その他先導役の天狗が団扇を持って周囲を歩き、道化役の岡崎が滑稽な姿でササラを擦り笑わせます。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 Tel042(769)8371

● 藤澤諏訪神社例大祭（西富ばやし）（E）

期 日：8月25日（火曜日）例大祭、8月27日（木曜日）神幸祭、26日は行事なし

場 所：諏訪神社（藤沢市大鋸3-7-2）、

神輿渡御、屋台巡幸は遊行寺、遊行通り、藤沢駅周辺

交 通：JR東海道線「藤沢駅」北口下車、徒歩約15分、又は「藤沢駅」北口からバス、原宿、戸塚方面行き「藤沢橋」下車すぐ

内 容：諏訪神社例祭で演奏される鎌倉ばやしの系統で、藤沢市内でも最も優れた型を残している囃子のひとつです。構成は、大太鼓1・すり鉦1・笛1で、総リードは鉦が行います。曲目は、「ショウデン」「カマクラ」「シチョウメ」「シンバヤシ」「ランビョウシ」で、獅子・ひょっとこ・おかめ・道化人などのお面をつけた踊りが入ります。25日は10時に神社を出立、遊行寺に向かいます。遊行寺境内到着後、10時30分より祭典と神楽が奉納されます。27日の神輿渡御では9時30

分、

遊行寺境内を出発し夕刻、遊行寺境内に神輿が戻ります。屋台による町内巡幸の当日は御旅所にて神楽が行われます。神輿渡御、屋台巡幸の時間と経路な

ど、

行事の詳細は期日が近くなってお問い合わせください。また、祭礼期間中の日曜日午後に諏訪神社の氏子神輿が藤沢駅周辺を練ります。本年(令和8年)

の

日程や巡幸経路は祭礼日近くに御確認下さい。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 Tel0466(27)0101

諏訪神社 Tel070(2272)7833

● 下九沢御嶽神社の獅子舞（C）（E）

期 日：8月26日（水曜日）道行14時30分頃～、奉納15時頃～

場 所：下九沢御嶽神社（相模原市緑区下九沢1336）

交 通：(1)JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「上溝」行きバス（橋34系統）、「塚場」又は「下九沢」下車、徒歩約10分

(2)JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「水郷田名」行きバス（橋59系統）、「塚場」又は「下九沢」下車、徒歩約10分

内 容：この獅子舞は、文化文政年間に奥多摩から伝えられたといわれる1人立ちの3匹獅子舞で、剣獅子・女（玉）獅子・巻獅子・岡崎の4人で構成され、ほかに2人の花笠（ササラ）がつきます。舞は、笛と唄の伴奏に合わせて行われ、首を左右に振り、見栄を切るような動作が多いことと、4人で円を描くように舞う独特の足さばきに特徴があります。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 Tel042(769)8371

● 片瀬諏訪神社例大祭

期 日：8月26日（水曜日）例大祭、8月27日（木曜日）神幸祭

場 所：諏訪神社（藤沢市片瀬2-21-16）、
神輿渡御のうち浜降りは27日早朝、片瀬東浜海岸

交 通：江ノ電「湘南海岸公園駅」下車、徒歩5分、又は「藤沢駅」南口から江ノ電バス、江ノ島行き「諏訪神社前」下車すぐ

内 容：片瀬諏訪の神社例大祭は、8月23日から28日まで祭事が行われます。この期間のうち、26日の宵宮と27日の例大祭が賑わいます。27日の例大祭では、午前4時に片瀬東浜海岸で神輿の浜降りが行われます。その後、7時50分から神社で祭典、神輿の出御となり、旧片瀬村内を巡幸します。夕刻、各町内の山車、囃子屋台が龍口寺前に集合、行列を組み神社に向かい、20時半(予定)に宮入をします。

問合せ：片瀬諏訪神社 TEL0466(22)5843

● 大山阿夫利神社の倭舞・巫女舞（C）

期 日：8月28日（金曜日）10時30分頃～（予定）※詳細は別途ご確認ください。

場 所：大山阿夫利神社社務局行在所内（伊勢原市大山355）

交 通：小田急線「伊勢原駅」よりバス「大山ケーブル」行き「社務局入口」下車すぐ

内 容：倭舞と巫子舞は、共に奈良の春日大社から伝授された大山阿夫利神社の神楽舞です。倭舞は、青摺衣（あおすりころも）に巻纓冠（けんえいかん）をつけた少年が四人で舞う倭舞と、一人で舞う六位舞があります。巫子舞は、赤袴に花のかざしを付け、五色の布を垂らした扇や鈴を持った六人の少女が舞う巫子舞と一人で舞う白拍子があります。継承されている倭舞は11曲、巫子舞は9曲あり、
当日はそのうちの4曲を舞います。

問合せ：大山阿夫利神社社務局 TEL0463(95)2006

● 扇町おもいで祭り 海老名の祭囃子（E）

期 日：8月29日（土曜日）※雨天時30日（日曜日）に順延

場 所：海老名駅西口中心広場 プリムナード、エビロード

交 通：小田急・相鉄・JR相模各線 海老名駅西口

内 容：15時～21時

中央広場では「海老名の祭囃子」の保持団体に所属する地元の「下今泉はやし保存会」、「上郷はやし連」によるお囃子や和太鼓の演奏を行います。

問合せ：海老名市教育委員会教育部教育総務課文化財係
TEL046(235)4925（直通）

〈9月〉

● 汐祭り

期 日：9月1日（火曜日）11:30頃～

場 所：野島・金沢漁港（横浜市金沢区海の公園9）

交 通：シーサイドライン「野島公園駅」または「海の公園南口」下車、徒歩約5分
内 容：汐祭は毎年9月1日に行われ、豊漁と漁の安全を祈ると共に、漁で亡くなった人を供養するお祭りです。当日は野島の鎮守である野島稲荷神社で大漁丸に御霊を移します。そのときに宮司さんが作った御幣を大漁丸に立てます。御霊移しの際は獲れた魚を供えます。終わると境内に合祀されている船玉様に一礼し、金沢漁港へ向かいます。金沢漁港では、大漁丸を飾りながら祝宴を行います。午後になると東京湾に繰り出します。汐祭は決まった祭り船はなく、大漁丸を乗せる船囃子を乗せる囃子船、随行する漁船が7～8隻あり、神船を先頭に、金沢漁港から一列になり出て行きます。大漁丸を流すのは夏島沖です。お馬流しや祇園舟のように、神船は取り舵を取って左回りで舷側から大漁丸を流します。神船を先頭とする船列は、大漁丸を囲むように左回りで3周します。そのあと、随行の漁船が大漁丸に波をかぶせるように近づき、大漁丸をひっくり返し、漁港へと戻ります。始まったのは明治になってからと伝えられています。大漁丸が身代わりとしてひっくり返ることで、船の海上安全が保たれています。

問合せ：横浜市漁業協同組合金沢支所 TEL045(781)8929

● 田名八幡宮の獅子舞（E）

期 日：9月1日（火曜日）17時頃～

場 所：田名八幡宮（相模原市中央区水郷田名1-8-28）

交 通：(1)JR横浜線「橋本駅」「相模原駅」「淵野辺駅」から水郷田名行きバス、
終点下車、徒歩約5分

(2)JR相模線「上溝駅」から水郷田名行きバス、終点下車、徒歩約5分

内 容：この獅子舞は、慶安年間に伝えられたといわれる1人立ち3匹獅子舞で、男獅子・女獅子・子獅子・バンバの4人で構成され、他に先導役の天狗、2人の花笠（ささら）がつきます。途中で母獅子が隠れるいわゆる「女獅子隠し」があります。この獅子舞は、長い間中断していましたが、昭和49年に地域の人々の努力により復活しました。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 TEL042(769)8371

● 栗原神社祭礼

期 日：9月4日（金曜日）、9月5日（土曜日）17時半～21時頃 ※詳細はご確認下さい

場 所：栗原神社（座間市栗原中央4-4-14）

交 通：相模鉄道線「さがみ野駅」からバス「座間駅」行き「栗原神社前」下車すぐ

内 容：昔から栗原地域で活躍する祭囃子保存会団体4団体（小池・上栗原・中栗原・芹沢）がそろって出演します。神楽殿及び境内の設置舞台で祭囃子を披露します。両日とも勇壮な太鼓の競演となります。

問合せ：座間市教育委員会生涯学習課 TEL046(252)8431

● 葛原皇子大神例大祭（葛原ささら踊り）（C）

期 日：9月5日（土曜日）宵宮の夕方開始予定 9月6日（日曜日）本祭

場 所：皇子大神境内（藤沢市葛原1382）

交通：小田急線「長後駅」西口、又は「湘南台駅」西口からバス、葛原経由吉岡工業団地行き「宮下」下車すぐ

内容：葛原ささら踊りは、皇子大神祭礼の前夜祭（宵宮）に参加します。平成20年に「相模のささら踊り」として県の無形民俗文化財に指定されました。

翌日曜日の本祭は、午前9時頃から午後8時頃まで、子ども神輿、大人神輿の順に列になって県道を練り歩きます。宮入りすると神楽殿で演芸などの催しが行われます。なお、現地から湘南台駅行き最終バスの時刻は土曜日、日曜日とも20時24分です。帰路にご注意ください。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 TEL0466(27)0101

五社神社 TEL0467(77)5310

● **宮尾神社例大祭 相模里神楽垣澤社中・神前舞奉納（E）未定**

期 日：9月6日（日曜日）13時～14時 ※神事での神前舞のみ奉納

場 所：八王子宫尾神社「拝殿」（八王子市上恩方町2089）TEL042(651)3880

交通：JR・京王帝都電鉄高尾駅からバス約25分「夕焼け小焼けバス亭」下車、徒歩約10分。車で圏央道八王子西I.Cから約15分。

内容：里神楽は、「古事記」や「日本書紀」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。

「拝殿」（13時神事開始）神前舞奉納

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● **熊野神社例大祭 厚木ばやし保存会**

期 日：9月上旬（土曜日）19時

場 所：熊野神社（厚木市旭町3-14）

交通：小田急小田原線「本厚木駅」南口より 徒歩10分

内容：熊野神社前にて演奏

問合せ：酒井 TEL046(228)2877

● **薬王院双盤念仏（E）**

期 日：9月7日（月曜日）～9月8日（火曜日）

場 所：薬王院（大和市上和田2710）

交通：小田急線「高座渋谷駅」下車、徒歩約20分

内容：双盤念仏は、双盤鉦という鉦を叩きながら引声の念仏を唱えるものです。

鎌倉光明寺から伝えられたものといわれており、現存する鉦の銘から享保元年（1716）には既に行われていた事が分かっています。9月8日の薬王院の縁日とその前日に行われます。7日は13時から20時の間に、8日は10時から20時の間に複数回行われますが、回向は8日の19時から行われる予定です。

問合せ：大和市役所健幸・スポーツ部文化振興課 市史・文化財係 TEL046(260)5225

● **葉山森戸大明神例大祭（湯立神楽）**

期 日：9月7日（月曜日）宵宮、9月8日（火曜日）例大祭

場 所：森戸大明神（葉山町）

交 通：JR横須賀線「逗子駅」下車、③番バス乗り場から葉山一色行き（海岸回り）約15分「森戸神社」下車すぐ、京浜急行「新逗子駅」からバス、葉山一色行き（海岸回り）約15分「森戸神社」下車すぐ

内 容：森戸大明神秋季例祭にて鎌倉神楽が奉納されます。6月に同神社で執り行われる潮神楽と同様のものです。神楽奉納は8日の14時頃を予定しています。例大祭は7～8日の2日間にわたって開催され、氏子町内の神輿が練り歩きます。神輿の浜降りは8日の15時頃になります。

問合せ：森戸大明神社務所 Tel046(875)6097 <http://www.moritojinja.com/>

● 極楽寺熊野新宮秋季例祭（鎌倉神楽）（E）

期 日：9月9日（水曜日）14時～

場 所：極楽寺熊野新宮（鎌倉市極楽寺2-3-1）

交 通：江ノ電「極楽寺駅」下車

内 容：熊野新宮秋季例祭にて鎌倉神楽が10座奉納されます。

問合せ：鎌倉市教育文化財部文化財課 Tel0467(61)3857（直通）

● 龍口寺法難会

期 日：9月12日（土曜日）

場 所：寂光山龍口寺（藤沢市片瀬3-13-37）

交 通：江ノ電「江ノ島駅」下車、徒歩約3分

内 容：日蓮上人が幕府から迫害を受けたが奇跡が起こり助かったことを偲ぶ行事です。

3日間行われますが、12日のぼた餅供養大法要と万灯練供養が中心となります。

ぼた餅供養大法要（御難ぼた餅撒き）は12日の18時と13日午前0時、万灯練り供養

は19時頃からの開始となります。行事の正式な日程や内容は8月に御確認下さい。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 Tel0466(27)0101

龍口寺寺務所 Tel0466(25)7357

● 川名御霊神社例大祭（川名屋台ばやし）（E）

期 日：9月12日（土曜日）宵宮15時30分～20時30分（町内巡行）

9月13日（日曜日）本祭10時～

場 所：御霊神社（藤沢市川名656）

交 通：JR東海道線「藤沢駅」南口からバス、手広、鎌倉方面行き「御霊神社」下車、徒歩3分

内 容：川名御霊神社の祭礼の時に奉納されるもので、鎌倉ばやしの系統になります。山車の屋台でたたくテンポのはやい囃子で、構成は大太鼓1、小太鼓2、笛1、鉦

1の5人です。曲目は「ヤタイバヤシ」「ショウデン」「カンダマル」「カマクラ」「シ

チ

ョウメ」「ランビョウシ」の6曲があります。囃子が乗る山車には鎌倉権五郎景政の人形が飾られています。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 TEL0466(27)0101

● 菅の獅子舞 (C)

期 日：子之神社 9月12日(土曜日)16時～、菅薬師堂 9月13日(日曜日)14時～

場 所：子之神社(菅北浦5-4-1)、菅薬師堂(川崎市多摩区菅北浦4-16-2)

交 通：JR南武線「稲田堤」下車、徒歩約6分

内 容：五穀豊穰、疫病退散を願って鎌倉時代から地元に伝わる神奈川県指定無形民俗文化財で、菅薬師奉賛会と菅獅子舞保存会の手で守り伝えられています。

川崎市多摩区菅北浦の薬師堂で毎年、雄獅子、雌獅子、白獅子の3頭と天狗による1人立3頭形式で笛と太鼓に合わせて勇壮な舞いがくり広げられます。

13日は法泉寺(多摩区菅北浦5-5-1)を13時過ぎに出発し、14時から菅薬師堂で舞われます。前日12日は法泉寺を15時過ぎに出発し、16時頃に子之神社で「揃い獅子」が舞われます。

問合せ：菅薬師奉賛会 TEL044(944)2258

● 第55回足柄峠笛まつり(足柄ささら踊保存会による踊り)(B)(C)
(内山剣舞おどり保存会による踊り)(D)(E)

期 日：9月13日(日曜日)笛まつりは10時30分頃～

※2つの芸能の出演は予定ですので、お問い合わせください。

場 所：足柄峠広場(静岡県駿東郡小山町古城跡)

交 通：下記の問合せ先に事前にお尋ねください。

内 容：(足柄ささら踊)

江戸時代から明治時代にかけて、少女たちが「盆踊り」として踊っていたものです。明治末期以降は徐々に衰退していきましたが、昭和29年頃、地元婦人会が再興しました。踊りでは竹のビンササラを突き、小太鼓をうち、2本の扇を用います。種類としては扇踊り、手拭踊り、太鼓踊り、丸々踊りがあります。最近では少女でなく成人した人達が、浴衣と木綿帯に赤い腰巻を出して、玉だすきで踊ります。

(内山剣舞おどり)

内山の剣舞おどりは、「忠臣蔵踊り」と「曽我の夜討ち踊り」で、江戸末期頃から伝わる風流踊。語りものに合わせて二人一組になって踊ります。

問合せ：南足柄市商工観光課 TEL0465(74)2111

● 亀ヶ池八幡宮例大祭 相模里神楽垣澤社中・神前舞と神楽奉納公演 (E) 未定

期 日：9月13日(日曜日)10時～18時ごろ ※詳細はご確認下さい。

場 所：亀ヶ池八幡宮「拝殿・神楽殿」(相模原市中央区上溝1678) TEL042(751)1138

交 通：JR相模線「上溝駅」下車、徒歩約15分。又は車で圏央道相模原愛川I.Cより国道

129号を八王子、橋本方面へ進み、田名新宿交差点(牛井吉野家)を右折し、

突

き当りの信号を左折、ちとせ橋を右折し、すぐ左折、道なりに2～3分です。
(無料駐車場あり、但し台数に限りあり)

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。

「拝 殿」(10時神事開始) 神前舞奉納

「神楽殿」(15時～18時ごろ)

(演 目) 寿式三番叟付五人囃子、他

※演目の変更や時間の遅延もあります。

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中(代表) 垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail: info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● 第55回鎌倉郷土芸能大会・祭ばやし大会

期 日：未定 9月中の開催は中止

場 所：鶴岡八幡宮 源氏池畔(鎌倉市雪ノ下2-1-31)

交 通：JR横須賀線、江ノ電「鎌倉駅」下車、徒歩約10分

内 容：例年、9月中旬の日曜日に開催されていましたが、近年は9月でも厳しい暑さが

続くため、出演者や観客の安全を考え10月以降の開催を検討しております。

したがって現時点での本年度の開催は未定となります。

問合せ：鎌倉市教育文化財部文化財課 TEL0467(61)3857(直通)

● 秋季開山忌(踊り念仏・薄念仏会)

期 日：9月14日(月曜日)(秋の開山忌 9月14日～15日)

場 所：藤澤山無量光院清浄光寺(時宗総本山遊行寺)(藤沢市西富1-8-1)

交 通：JR東海道線「藤沢駅」北口下車、徒歩約15分、又は「藤沢駅」北口からバス、原宿、戸塚方面行き「藤沢橋」下車すぐ

内 容：清浄光寺(遊行寺)の春、秋の開山忌に行われます。秋の開山忌は9月14日～15

日です。遊行寺踊り念仏は、白い装束で20名前後の女性が四角く並び、中央に太鼓2名に鉦が5人、残りは教本を持って念仏を唱えながら踊ります。一時中絶していましたが、昭和50年に長野県佐久市跡部の踊り念仏を参考に復活しました。踊り念仏の一つである薄念仏と保存会による踊り念仏は14日を予定しておりますが、各行事の正式な開始時間は未定です。開山忌が近くなりましたら、遊行寺の公式ホームページにてご確認ください。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 TEL0466(27)0101

清浄光寺(遊行寺) 寺務所 TEL0466(22)2063

● 御霊神社の面掛行列(C) 鎌倉神楽(E) 天王唄、鎌倉囃子

期 日：9月18日(金曜日)

場 所：御霊神社(鎌倉市坂ノ下4-9)、鎌倉市坂ノ下町内

交 通：江ノ電「長谷駅」下車、徒歩約3分

内 容：御霊神社の祭礼に行われている面行列です。奈良時代に盛んであった仏教布教のための仮面劇、「伎楽（ぎがく）」の面を用いて演じられます。
伎楽はその後衰退したため、現在伎楽の面を祭礼に用いる例は全国的にはほとんどなく、全国的に希少となった「伎楽面風流」を今に伝えるという意味で貴重な文化遺産となっており、県の無形民俗文化財に指定されています。また、当日は境内において鎌倉神楽(湯花神楽)が行われます。なお、御霊神社境内は撮影禁止となっておりますのでご注意ください。

問合せ：鎌倉市教育文化財部文化財課 Tel0467(61)3857（直通）

● お三の宮祭礼

期 日：9月18日（金曜日）※詳細時間をご確認下さい。

9月19日（土曜日）神社大神輿の巡行

9月20日（日曜日）町内神輿連合渡御

場 所：お三の宮日枝神社（横浜市南区山王町 5-32）

南区山王町～中区伊勢佐木町通り周辺

交 通：横浜市営地下鉄線「吉野町駅」下車、徒歩約3分または、京浜急行線「南太田駅」下車、徒歩5分

内 容：社宝大神輿は御鎮座350年奉祝記念事業の一環として、令和5年に復元修繕されました。大神輿による氏子内御巡行、大小40基に及ぶ町内神輿連合渡御が盛大に行われます。芸能につきましては、日時は未定となっています。詳細は直前にご確認頂けますようお願い致します。

問合せ：お三の宮日枝神社 Tel045(261)6902

<http://www.osannomiya-hie.or.jp>

● 円蔵神明大神宮例大祭（圓蔵祭囃子）（E）

期 日：9月19日（土曜日）宵宮 19時～

9月20日（日曜日）本祭 6時御立ち 15時宮入

場 所：円蔵神明大神宮（茅ヶ崎市円蔵2282）

交 通：JR相模線「北茅ヶ崎駅」から徒歩約15分、又は「茅ヶ崎駅」北口からバス、寒川駅南口行き、寒川経由文教大学行き「円蔵」下車、徒歩3分

内 容：伝承によると、懐島大庭景能がこの地に館を構え、戦に勝った祝宴に、御神楽の囃子方の楽人を招き、家臣と共に笛や太鼓で楽しんだお囃子太鼓が村人に伝承され円蔵祭囃子の基となったと云われています。正確な歴史は不明ですが、明治以前から受け継がれており、戦後多くの祭囃子が絶えていった中、現在まで伝えられ続けています。曲には屋台囃子、宮昇殿、昇殿、神田丸、鎌倉、四丁面、岡崎(ばか踊り)があります。

問合せ：茅ヶ崎市社会教育課文化財保護担当 Tel0467(81)7226（直通）

● 禰宜舞（E）

期 日：9月20日（日曜日）14時頃～

場 所：白幡八幡大神拝殿（川崎市宮前区平4丁目）

交 通：東急田園都市線「宮前平駅」下車、南口1番又は北口4番乗り場より「溝15系

統」バスにて「白幡八幡前」下車、徒歩3分

東急田園都市線、JR南武線「溝の口駅」下車、南口2番乗り場より「溝16系

統」バスにて「白幡八幡前」下車、徒歩3分、南口3番乗り場より「溝17系統・

18系統」バスにて「平」下車、徒歩5分

小田急線、JR南武線「登戸駅」生田緑地口より「登05系統」バスにて「平」下

車、徒歩5分

内 容：祭囃子なども奉納されます。詳細は、7月19日（日曜日）の「禰宜舞」を参照
ください。

問合せ：白幡八幡大神社務所 TEL044(977)5639

● 山崎北野神社例大祭（鎌倉神楽）（E）

期 日：9月25日（金曜日） 13時～

場 所：山崎北野神社（鎌倉市山崎736）

交 通：湘南モノレール「富士見町駅」下車、又は、「大船駅」東口からバス、梶原、
鎌倉山方面行き「山崎」下車

内 容：北野神社例祭にて鎌倉神楽が10座奉納されます。

問合せ：鎌倉市教育文化財部文化財課 TEL0467(61)3857（直通）

● 三溪園「観月会」

期 日：9月25日（金曜日）～9月29日（火曜日）

場 所：三溪園（横浜市中区本牧三之谷58-1）

交 通：JR根岸線「根岸駅」下車、1番のりば市バス（58・101系統）約10分「本牧」
下車、徒歩10分

JR、京浜急行、市営地下鉄、相鉄「横浜駅」下車、東口2番のりば市バス
（8・168系統）約40分「三溪園入口」下車、徒歩5分

JR根岸線、横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町」下車、2番のりば市バス
（8系統）約28分「三溪園入口」下車、徒歩5分

みなとみらい線「元町・中華街駅」下車、4番出口そば山下町バス停より市バ
ス（8・168系統）約15分「三溪園入口」下車、徒歩5分

内 容：未定

問合せ：公益財団法人三溪園保勝会 TEL045(621)0634

● 熊野神社例大祭 相模里神楽垣澤社中・神楽奉納公演（E）未定

期 日：9月26日（土曜日）17時30分～21時ごろ ※詳細はご確認下さい。

場 所：熊野神社「神楽殿」（厚木市愛甲2-20-8）TEL046(247)2734

交 通：小田急小田原線「愛甲石田駅」下車、徒歩約5分、東名「厚木I.C」から約2km

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付
けて行われる仮面黙劇で、神代神楽とも呼ばれる神事芸能です。

（演 目）寿式三番叟付五人囃子、他

※演目の変更や時間の遅延もあります。

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● 森山神社例大祭（世計り神事）（E）

期 日：9月26日（土曜日）宵宮（世計り）
9月27日（日曜日）本祭（お水取り）

場 所：森山神社（葉山町一色2165）

交 通：JR横須賀線「逗子駅」、又は京浜急行「新逗子駅」よりバス、山手回り葉山、長井方面行き「旧役場前」下車すぐ

内 容：世計り神事の内容については、森山社HP (<https://moriyamasha.jimdo.com/>) に詳しく記載されています。森山神社の例大祭で行われる世計り神事は、300年以上前から行われている古い神事です。また、粥を使う作占いは各地にありますが、水による作占いは大変に珍しいものです。なお、本年(令和8年)は祭礼が9月に変更されましたので、お気を付けください。

問合せ：森戸大明神社務所 TEL046(875)6097 <http://www.moritojinja.com/>

● 曾我別所寿獅子舞（宗我神社祭礼）（E）

期 日：9月27日（日曜日）12時頃～

場 所：宗我神社神楽殿（小田原市曾我谷津）

交 通：JR御殿場線「下曾我駅」下車、徒歩約10分

内 容：宗我神社の祭礼にあわせて奉納される獅子舞です。「新編相模国風土記稿」によれば江戸時代には宗我神社の祭礼時に獅子舞があったと記されています。代々、村の長によって伝承され、曾我郷六ヶ村の総鎮守宗我神社への豊年と氏子の無病息災を祈願して奉納されてきました。この獅子舞も昭和期に入り衰退し始め、戦争中は中断してしまいました。

寿獅子舞は戦中に曾我に疎開していた幫間の桜川茶羅平（ちゃらへい）と歌舞伎役者の桜川梅丸によって、獅子にひょっとこ等を絡ませる独特の演出が加えられた獅子舞で、昭和21年春に復活しました。勇壮な獅子の舞とコミカルなひょっとこ等の仕草が観衆をひきつけ、飽きさせません。

祭礼では、猿田彦尊の道案内で、活力あふれたお囃子を奏でながら、五基の山車が集まります。各地区から宮下へ山車が集まるのが、11時頃です。山車を飾る龍を中心とした彫り物は、地区ごとに力を入れた見事なものとなっています。また、笛や鉦などの演奏者が山車の屋根の上で演奏するのも、特徴の一つです。

問合せ：小田原市文化部文化財課 TEL0465(33)1717

● 四之宮前鳥神社例大祭

（前鳥囃子・麦振舞神事・神輿宮入り神事：E・平塚市、相模人形芝居前鳥座：C）

期 日：9月27日（日曜日）、9月28日（月曜日）

場 所：前鳥神社（平塚市四之宮4-14-26）

交 通：JR東海道線「平塚駅」北口よりバス、旧道四之宮經由田村車庫行き、田村經由本厚木駅南口行き、又は小田急線「本厚木駅」南口よりバス、平塚駅行き「前鳥神社前」下車、徒歩約3分

内 容：27日が宵宮、28日が本宮です。宵祭では夜拝殿前に据えられた神輿に御霊が遷

された後、神輿を担ぐ白丁20名に力飯として里芋の葉に持った強飯と大根の煮付けに唐辛子を添えたものが供され、これを食べた白丁達により神輿が担ぎ上げられます。これらの神事後、境内神楽殿で前鳥囃子及び里神楽の公演と相模人形芝居の前鳥座の奉納公演が行われます。

翌日の本宮では例大祭祭典に引き続き神輿が地区内を渡御。夕刻「下郷」地区の神酒所より神社への還幸渡御があり、神輿が神社の入る際に「神輿宮入神事」が行われます。神輿の「蕨手」に「奠の綱」という白絹の布を結びつけて、これを氏子総代→神職と順次引いて神輿の還御を迎えるもので、祭神の菟道稚郎子命の葬送の様を表すと伝承されているそうです。

問合せ：前鳥神社 TEL0463(55)1195